

シリーズ さあ 次の10年へ ～第7次舟形町総合発展計画～

第4回 わくわくする未来へ

舟形町総合発展計画は、まちづくりの基本方針を示したものです。
来年度からの新しい計画ができましたのでお知らせします。

町では、これまで第6次舟形町総合発展計画（計画期間平成22～令和元年度）に基づき、まちづくりを推進してきました。この計画が今年度末に終期を迎えることから、これまでの取り組みの成果と課題、その後の社会経済情勢の変化等を踏まえ、中長期的なまちづくりの指針として第7次舟形町総合発展計画を策定しました。

2020-2029
舟形町総合発展計画



まちの将来像

基本目標

長期構想
(概ね10年間)

施策の大綱

基本施策

短期アクションプラン
(5年間)

具体的施策

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第7次舟形町総合発展計画の構成

- 総合発展計画は、長期的視点でまちづくりの方向性を示す「長期構想」と中期的視点で具体的施策や事業等を定める「短期アクションプラン」で構成。
- 長期構想は、期間を令和2年度からの概ね10年間とし、「まちの将来像」とそれを実現するための理念（基本目標）、施策の方向性（大綱）を整理。
- 短期アクションプランは、期間を5年間とし、長期構想に基づいた基本施策とその展開方針、具体的な事業・取り組みを定める。
取り組みの成果を評価するため、基本施策ごとに目標指標(数値目標)を設定。
- 町民代表で組織する総合発展計画策定会議を設置。地域づくりアンケートや「地区びじょん」などにより町民の声を反映。
- SDGs※の要素を反映した指針としての役割。

※「SDGs(エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会の共通目標のこと。「17の目標」と「169のターゲット(具体目標)」で構成されている。

～まちの将来像～

住んでいる人が誇れるまちづくり

「わくわく未来ふながた」

「住んでいる人が誇れるまちづくり」に取り組んでいくことで、町民の誰もが幸せを実感し、「わくわく」できる「わくわく未来ふながた」を創造します。

本町を取り巻く社会経済情勢の変化に対応し、持続可能なまちづくりを進めるために、本計画では、「6本の柱」と「それを支える1つの基盤」を基本目標として短期アクションプランを力強く推進し、「ふながた創生」を拡大・加速していきます。また、重点的かつ横断的に取り組む施策を「重点プロジェクト」として位置づけ、具体的な施策の取り組みを積極的に進めます。

基本目標：6本の柱とそれを支える1つの基盤

短期アクションプラン
重点プロジェクト

目標1：いつまでも元気で笑顔が溢れるまち（福祉健康）

目標2：町の「宝」を守り育てるまち（教育文化）

目標3：地域の魅力・活力を生み出すまち（産業経済）

目標4：つながり、支え合うまち（地域づくり）

目標5：暮らし・生命を守るまち（防災安全）

目標6：快適な暮らしを叶えるまち（生活環境）

目標7：健全で持続可能な行財政運営（支える基盤）

100歳元気プロジェクト

少子化対策・子ども育成プロジェクト

定住・移住プロジェクト

デジタルファーストプロジェクト



3月2日、舟形町総合発展計画策定会議（委員長 阿部太悦さん）より町長に対して答申が行われました。



▼問い合わせ／舟形町まちづくり課 企画調整係
☎(32) 0104